

# プログラム

## 第1部

- 「<sup>みやーく ゆー</sup>んなまからどう 宮古世」 宮古高等学校郷土芸能部
- 主催者あいさつ (一社)宮古島市文化協会長 大城裕子

## 第2部

- ニガイ 砂川春美
- 芝居・歌・舞踊

<sup>うぶかじ</sup>強風ぬ中ぬ <sup>ばた かぎ</sup>旗ぬ美さ <sup>ゆ が ふ あ</sup>世界報招びず <sup>ゆ だき にー すま どうゆ</sup>四つ竹ぬ音 島ん響まし <sup>つむ</sup>肝ん染みる

(逆境の中でも 自分を見失うことなく 凜として風の中に立つ身であれ  
幸せを招くという 四つ竹の音色を 島中に響かすことを 忘れるな)

米寿を迎え、家族や親戚から長寿を讃えられるツルおばあ。その手にいつも大切に持つ「四つ竹」の意味を孫の希望(のぞみ)に尋ねられ、おばあは自ら必死で生きてきた人生を述懐する。貧困、混乱、戦争、死別。波乱に満ちた一人の女性の生涯、「弥勒」「鷹柱」「約束」「郷愁」「肝心」「天蛇」の節目ごとに舞台は展開する。

宮古島で活躍するそれぞれの分野のアーティストが団結し、誇りを持って宮古島を謳いあげる。経糸(たていと)に宮古島の文化、緯糸(よこいと)に芸能を紡ぎ織りなす舞台。そこから大切なモノを見つけて頂ければ・・・。

脚本:宮国敏弘 演出:宮国敏弘・前里昌吾

出演:おばあ(ツル)・・・与那覇冴子 孫(希望)・・・真壁那弥 長男嫁(初美)・・・池間安子  
客(玄幸)・・・宮国敏弘 客(明良)・・・下地秀樹 ツル母・・・砂川春美  
ツル(幼少期)・・・友利綺良 男の子たち・・・平良忠嗣、荷川取宏太  
ツルの幼友達・・・嘉手苺咲良、金城萌、上原美春、奥平琴羽

### 壺 弥勒(みろく)

#### (1)豊年のあやぐ

琉球舞踊穂花会 亀浜律子練舞場  
〈歌・三線〉川満健功、與那城美和、棚原芳和、漢那林 〈太鼓〉松堂亨

#### (2)トーガニアヤグ

〈歌・三線〉川満健功 〈三線〉棚原芳和

### 式 鷹柱(たかばしら)

(3)ばんがむり、たかドローイ 〈合唱〉みやこ少女少女合唱団

(4)サシバ飛んだか 砂川 悟

### 参 約束(やくそく)

#### (5)新かめしゃがまよ

久田流家元 久田多嘉子舞踊研究所  
〈歌・三線〉與那城美和、川満健功、棚原芳和、漢那林 〈太鼓〉松堂亨

#### (6)家庭和合

〈歌・三線〉川満健功・棚原芳和

#### (7)松木が葉

〈歌〉與那城美和

### 四 郷愁(きょうしゅう)

#### (8)港町十三番地

〈舞踊〉佐良浜学区婦人会

### 五 肝心(つむぐる)

#### (9)愛しゃ・<sup>かな</sup>宮古世<sup>みやーく ゆー</sup>

〈歌〉下地暁

### 六 天蛇(ていんぱう)

#### (10)ニライカナエ

〈舞踊〉美座 -かぎざ-

#### (11)中立ぬみがま

〈舞踊〉宮古島創作芸能団 んきゃーんじゅく

